

名市工 NEWS

<第248号>

県営名古屋空港で地域連携事業、エアライン整備士による航空技術研修会に参加！

10/12（火）、県営名古屋空港でフジドリームエアラインズ（以下、FDA）の整備士による航空技術研修会が開催され、本校の総合選択科目「航空宇宙」受講生と飛行機同好会員が参加しました。この研修会は、FDAが県営名古屋空港就航10周年を迎えたことをきっかけに、名古屋市との連携によって企画されましたが、新型コロナウイルス感染事情による中止・延期が続き、9月末の緊急事態宣言の解除を受けて、ようやく開催に至りました。

研修会の実施にあたり、生徒たちは事前に「空港で飛行機を使って、学びたいこと/やりたいこと」を提出し、当日それらのうちのできる限りのことが「空港内の立ち入り制限が含まれるエリア（格納庫と駐機場）」で実現される」という内容でした。生徒たちは、格納庫では、技術的な講習を受けた後、ジェット旅客機を見て触って動かし、整備士の方たちとの懇談も交えて、航空技術を学びました。そして、駐機場では、解説を聞きながら、機体の離発着、乗員・乗客の乗降、働く人たちの働く姿を見ることで、運航を支える様々な業務を学びました。

FDAのご尽力により、学校祭や校外活動などの中止・延期などの暗いニュースが続く中、飛行機や空港の魅力を十分に感じながら航空技術を学ぶことができた有意義な研修会になりました。この研修会が、子どもに夢と感動を与える機会や、若者のキャリア形成の一助となり、地域産業の明るい将来につながることを祈ります。

